



太陽のように
温かい心を持ち
地域で明るく輝き
家族の絆を深める子

編集・発行

一般社団法人 福井県子ども会育成連合会

〒918-8135 福井県福井市下六条町14-1「福井県生活学習館内」

TEL (0776)41-3908 FAX (0776)41-3916

ホームページ <http://www.kodomo-kai.or.jp/fukui/>

ふくいっ子

びっくりぽん!! な体験いっぱい子ども会



福井市子どもまつり



新聞ドーム



県ジュニア・リーダー宿泊連絡会 テーマ「視点Know」

あわら市重義子ども会



勝山市沢子ども会



INDEX

- P2 県ユース・リーダーの紹介
嶺南地区ジュニア・リーダー研修会
県ジュニア・リーダー宿泊連絡会
東海北陸地区子ども会ジュニア・リーダー研修会
- P3 坂井地区子どもまつり
鯖丹地区子どもまつり
福井地区子どもまつり
奥越高志地区子ども会育成研究大会
- P4 福井地区子ども会育成研究大会
嶺南地区子ども会育成研究大会
越前市・南越地区子ども会育成研究大会
鯖丹地区子ども会育成研究大会
- P5 栄光の表彰
東海北陸地区子ども会育成研究協議会
全国大会
全国子ども会安全共済会に入ろう
- P6 壁新聞コンクール



壁新聞啓発・推進研修会



越前市・南越地区子ども会育成研究大会

県ユース・リーダーの紹介

平成24年に『青少年の健全育成と子ども会活動の活性化』を目的に発足。主な活動は、県ジュニア・リーダー（JL）連絡会の企画・運営と県JL嶺北・嶺南研修会のサポートです。また要請に応じて各市町子連の行事を手伝います。さらに資質向上や実践力向上のためにさまざまな研修を積んでおり、県内ジュニア・リーダーの模範となっています。

仕事や学業との両立を、若さと団結力で軽々とこなしている様子はとても頼もしく、すがすがしく感じています。今後さらなる活躍を期待します。



中林 美彩 (社会人・福井市)
山口 祐司 (社会人・あわら市)
渡邊 幸太 (社会人・小浜市)
松本 恵哉 (学生・敦賀市)
山崎 洸亮 (学生・敦賀市)
山本 凛 (学生・敦賀市)
湖山 貴成 (社会人・高浜町)
田邊のゆき (学生・美浜町)

山本 零 (社会人・あわら市)
宮田 一生 (社会人・坂井市)
野村未沙樹 (社会人・越前市)
安久奈津子 (社会人・越前市)
井上 咲 (学生・越前市)
中嶋 勇貴 (学生・大野市)
角谷 夏海 (学生・おおい町)

嶺南地区ジュニア・リーダー研修会

12月6日(日) in 高浜町文化会館

25名
参加!

各地区ジュニア・リーダーによる活動の紹介後、県ユース・リーダーの山本零さんによる「東海北陸地区子ども会ジュニア・リーダー研修大会」の伝達講習が行われました。その後、参加者全員がレクリエーションや創作ダンスなどを楽しみながら、交流の輪を広げていました。

参加者からは「積極的に話しかけることが重要であると感じた」など、前向きな感想も聞かれ、学ぶこと

が多い実りある研修会となりました。



第2回

県ジュニア・リーダー宿泊連絡会

2月13日(土)～14日(日) in 福井県立三方青年の家

(テーマ) 視点 Know

22名 参加!

今回は永平寺町の小学6年生の見学があり、互いに良い経験となりました。研修のテーマは「視点 know」ということで、活動における4つの視点(体力・話術・知識・技術)を学びました。この経験をもとに、参加者が各地区での活動を頑張り、ぜひ来年度も宿泊連絡会に参加してくれることを心待ちにしています。



東海北陸地区子ども会

ジュニア・リーダー研修大会

8月8日(土)～10日(月) in 国立乗鞍青少年交流の家

(テーマ) わ

15名 参加!

今回の研修テーマである「わ」をもとに、旗にみんなの手形で輪を描きました。さらに研修のテーマソング MAY'S の「wa になっておどろう」のレクダンを踊りました。このあと集合写真を撮り、研修大会は幕を閉じました。

引率者としての感想は、もちろん引率としての発見もありましたが、「研修生として行きたかった!」これにつきます。

そしてスタッフの人たちのすごさに圧倒されました。県ユース・リーダーもそうしてもらえるように頑張らないといけないなと、考えさせられました。



坂井地区子どもまつり

(坂井市子連)

12月12日(土) in 三国町体育館

約200名
参加!

今回は、より安全・安心で、男女差・年齢差なく多くの子どもたちに楽しんでもらおうと、初の試み! 「ディスクドッジ大会」を開催しました。

女の子が男の子をアウトにしたり、低学年の子も活躍していたりと、いつもとちがう光景を見ることができました。決勝戦では、おたがいに涙を流し、子どもたち同士の絆や、頑張って練習してきたことが何え、とても感動しました。



鯖丹地区子どもまつり

(鯖江市子連)

9月13日(日) in ユーカルさばえ

約450名
参加!

「子どもによる子どもまつり」を目標に、子ども会リーダーとジュニア・リーダーがチラシやポスター、看板まですべて手づくりで行いました。

迷路やキーホルダーづくり等の体験と、クレープやフライドポテトの屋台では、材料不足で参加者を待たせたり、とまどいながらも一生懸命の運営でした。

企画から当日運営までリーダーとしての達成感を味わえた子どもまつりになりました。



福井地区子どもまつり

(福井市子連)

11月15日(日) in 福井市西体育館

約250名
参加!

この大会は、一昨年より各地区の子供たちが多く参加できるようにと各方面の市体育館を使用し開催しています。

今年は、『新聞』をテーマに、迷路体験やドーム作成を楽しんでもらいました。また、交流事業に参加した子どもスタッフや、市のシニアやジュニア・リーダーたちが中心となり会場を盛り上げました。参加者の楽しそうな姿や歓声を上げて喜ぶ姿を見て、感動しました。



奥越高志地区子ども会育成研究大会

9月13日(日) in 大野市学びの里
「めいりん」

36名
参加!

(テーマ1) 連合体組織の活動

(テーマ2) 安全教育 危険(予知)を探そう!
回避の対応

育成者や指導者、ジュニア・リーダーが一堂に集い、活動発表をもとに資質向上について考えました。

県子連の「柱」である安全教育の充実については、グループ・ワークを行い、「K Y T (危険・予知・トレーニング) シート」を活用して5分間の中で状況や行動中に「潜む危険を探し」、その危険を「回避する」などの対応を学びました。応急手当については、全子連の教本「怪我防止マニュアル」や市販の「止血法」「応急措置」及び「三角巾の使用」などの資料で研修を深めました。



福井地区 子ども会育成研究大会

12月5日(土) in 福井県生活学習館 **111名参加!**

(テーマ) **メンタルトレーニング講座**
～いまだきの子のやる気に火をつける～

飯山昶朗氏（一般社団法人 人財開発フォーラム理事長）を講師としてお招きし、メンタルトレーニング講座を行っていただきました。

参加者皆さんが興味のある内容のためか、会場は満員となり、講座後の質疑応答でも時間ぎりぎりになるほど、たくさんの活発な発言が続きました。



嶺南地区 子ども会育成研究大会

11月8日(日) in 敦賀市中郷公民館 **117名参加!**

表彰式後、敦賀市のジュニア・リーダーズクラブと西地区子ども会の活動発表、又、小島義和講師による「SNSの実態のお話」と、大変有意義な時間を過ごしました。「自分の子もジュニア・リーダーみたいになって欲しい。」との参加者の声もあり、発表したジュニア・リーダーたちには良い励みとなりました。



南越地区 子ども会育成研究大会

11月29日(日) in 南条文化会館 **約140名参加!**

壁新聞、子ども会の表彰式と児童文学作家の杉山亮氏による、「参加型ものがたりライブ」が行われました。

杉山氏のものがたりライブは、誰もが知っている昔話を現代風にアレンジした話などがあり、大人も子どもも楽しめる内容でした。

また、会場には壁新聞も掲示されており、各地域の魅力や特徴を楽しく知ることができました。



鯖丹地区 子ども会育成研究大会

11月18日(水) in 越前町生涯学習センター

(テーマ) **幸せの3つの条件**
～子どもの心に何を育てるか?～

県内でパパジャングルを主宰する荒巻仁氏より講演をいただき、その後グループ討議を行いました。

子どもたちに「勇気」を身につけてもらいたいとの熱のこもった内容でした。また、みんなで話し合うことで日々子ども会活動のありかたも再確認できました。



知事賞

越前市小松町子ども会



「大 大好き 小松新聞」

県議会議長賞

坂井市池見子ども会



「池見和 (なごみ) 新聞」

県教育委員会賞

越前市五分市町子ども会



「五分市GOGO新聞2」

福井新聞社長賞

越前市村国三丁目子ども会



「村SUNタイムズ」

県子連会長賞

越前市中平吹町子ども会



「中平吹タイムリー7」

〈低学年の部〉

賞	市町名	壁新聞の名称	子ども会名
優秀賞	小浜市	はまっこ新聞	田島子ども会
優秀賞	おおい町	おおい町の特産品新聞	15区子ども会

取材、制作過程の子どもたちの苦労やワクワク感がどの新聞にも表れ、楽しく審査できました。お世話に当たった指導者の方々に頭が下がります。自分たちが暮らす地域を調べ、発信する。共通するのは「地域へのこだわり」

福井新聞社編集局メディア整理部

編集委員 寺島 賢哉

子ども会壁新聞
コンクールを審査して

福井テレビ社長賞

越前市矢船町子ども会



「ペイント矢船」

ですが、それでは具体的に何に焦点を当てるのか。名所や人物を紹介することはもちろん面白いのですが、そこに共通したテーマがあると一段と惹きつけられます。地域のスポーツ事情や戦争当時のことを調べたり、歴史の謎に迫ったりした作品に審査員のポイントが多く集まりました。

さらに、アンケートやインタビューなど調査手法はどうするか、紙面はどのようなレイアウトで飾るのか。工夫を重ねた新聞がやはり高い評価を得ました。デジタル全盛で、多くの情報が簡単に手に入るこの時代。発想力や協調性、持続力を育むことが大切だと思います。入賞以外の作品でも、子どもたちがじっくりと取り組んだ仕事ぶりに味わい深いものを感じます。これからも多くの新聞が寄せられることを期待します。